



健康開発学科 健康行動科学専攻

延原 弘章 教授

【研究分野】 保健統計、疫学

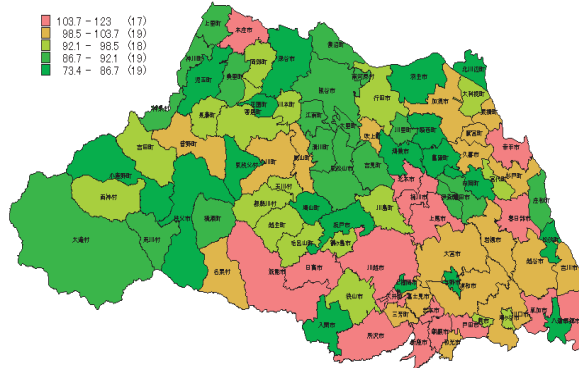
【キーワード】 標準化死亡率

【U R L】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=215nobu>

保健医療福祉に関する調査研究

研究概要

地域における調査や行政統計などを用いた疫学研究を行っています。現在は主要な死因について、1983～2017年の全国市区町村別標準化死亡率（SMR: Standard Mortality Ratio）の推移についての研究を行っています。SMRは塗り分け地図（SMR分布地図）を作成することにより特定の死因の地域的な偏在の確認ができますが、長期的な推移についてはこれまであまり検討されることがありませんでした。そのため、まず同一の基準で時系列で比較可能なSMRのデータベースの作成を試みています。



埼玉県市町村別乳がん(女)SMR(バイズ統計量)分布地図(1996-2000年)

講座テーマ紹介

●専門職向け

「調査データ分析の基礎」：統計調査の経験の少ない方は、どのような統計手法を使えばいいのか分からなくて困っていると言われる。しかし、一緒に作業をしてみると、そもそもデータの入力方法が間違っている、統計分析に適さないデータの収集の仕方をしているということが少なくありません。データクリーニングという概念すら知らないままに分析をする方もいます。調査データ分析の基本的な内容から簡単な分析までをお話します。

「データ分析演習」：特別な統計分析ソフトがなくても、ある程度のことはExcelやフリーソフトで可能です。簡単な統計分析の演習を行います。

アピールポイントなど

岡山県看護教員養成講座の看護研究（調査研究）講師、岡山県看護協会研修会講師（看護研究）等の経験があります。また、2001年から約10年にわたってインフルエンザワクチン需要予測調査（厚生労働省科学研究費補助事業）を実施してきました。